



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年2月12日

上場会社名 小倉クラッチ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6408 URL <http://www.oguraclutch.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小倉 康宏
 問合せ先責任者(役職名) 執行役員経営管理本部長 (氏名) 関根 秀利 (TEL) 0277-54-7101
 四半期報告書提出予定日 2020年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	30,996	△0.4	535	△53.3	541	△54.7	319	△66.6
2019年3月期第3四半期	31,109	2.1	1,146	△7.1	1,196	△6.9	958	14.8

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 87百万円(△80.3%) 2019年3月期第3四半期 445百万円(△64.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	213.73	—
2019年3月期第3四半期	640.05	—

(注) 当社は、2018年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	42,591	17,540	40.2	11,449.27
2019年3月期	43,297	17,599	39.8	11,510.40

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 17,138百万円 2019年3月期 17,229百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	100.00	—
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2020年3月期(予想)期末配当金は、現時点では未定とさせていただきます。

当社は、2018年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。2019年3月期の1株当たり配当金については、第2四半期末は株式併合前の金額を記載し、期末は株式併合後の金額を記載しており、年間配当金合計は「—」として記載しております。

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	41,300	0.7	640	△37.8	620	△43.2	610	△24.0
								407.51

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 1社(社名) 砂永精工電子(東莞)有限公司、除外 1社(社名)

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	1,553,323株	2019年3月期	1,553,323株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	56,450株	2019年3月期	56,417株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	1,496,896株	2019年3月期3Q	1,497,047株

(注) 当社は、2018年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用環境は改善したものの、消費税率引き上げや自然災害などの経済への影響、海外情勢への不安などもあり、景気は足踏み状態となっております。また世界経済についても、米中貿易摩擦の長期化や英国のEU離脱などの問題により、先行きに対する不透明感がある中で、製造業においては在庫調整局面が続いております。

このような状況のもとで、当社グループはグローバル市場で積極的な販売活動を行ってまいりましたが、当第3四半期連結累計期間における売上高は、30,996百万円と前年同期と比べ113百万円の減少(前年同期比0.4%減)となりました。営業利益は一般産業用事業の売上減少などにより535百万円と前年同期と比べ610百万円の減少(前年同期比53.3%減)、経常利益は541百万円と前年同期と比べ654百万円の減少(前年同期比54.7%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は319百万円と前年同期と比べ638百万円の減少(前年同期比66.6%減)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

① 輸送機器用事業

輸送機器用事業においては、欧米での売上は減少したものの、アジアでの売上が増えたことにより、輸送機器全体としての売上高は増加しました。

その結果、売上高は22,654百万円と前年同期と比べ1,025百万円の増加(前年同期比4.7%増)となりましたが、製品構成の影響などにより、セグメント利益は811百万円と前年同期と比べ133百万円の減少(前年同期比14.1%減)となりました。

② 一般産業用事業

一般産業用事業においては、主要なOA機器、モーター、変・減速機、昇降・運搬の各業界向けの売上が減少となりました。

その結果、売上高は7,309百万円と前年同期と比べ1,347百万円の減少(前年同期比15.6%減)となり、セグメント損失は272百万円(前年同期は201百万円のセグメント利益)となりました。

③ その他

その他では、売上高が1,032百万円と前年同期と比べ207百万円の増加(前年同期比25.2%増)となりました。セグメント利益は70百万円と前年同期と比べ10百万円の減少(前年同期比12.7%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産につきましては、流動資産は主に、現金及び預金の減少等により27,942百万円(前期末比1,071百万円減)となりました。固定資産は主に、有形固定資産の増加等により14,649百万円(前期末比364百万円増)となりました。その結果、資産合計は42,591百万円(前期末比706百万円減)となりました。

負債につきましては、流動負債は主に、電子記録債務の減少等により20,228百万円(前期末比176百万円減)となり、固定負債は主に、長期借入金の減少等により4,822百万円(前期末比470百万円減)となりました。その結果、負債合計は25,051百万円(前期末比647百万円減)となりました。

純資産につきましては、為替換算調整勘定の減少等により17,540百万円(前期末比59百万円減)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点では、2019年11月12日に公表いたしました2020年3月期業績予想に変更ありません。ただし、今後の経営環境を踏まえ、業績予想の修正が必要である場合は、適時に開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,000	6,660
受取手形及び売掛金	8,933	8,777
電子記録債権	2,635	2,476
商品及び製品	3,521	3,388
仕掛品	3,791	3,581
原材料及び貯蔵品	2,432	2,432
その他	879	769
貸倒引当金	△180	△143
流動資産合計	29,013	27,942
固定資産		
有形固定資産	11,138	11,494
無形固定資産		
その他	358	681
無形固定資産合計	358	681
投資その他の資産	2,787	2,472
固定資産合計	14,284	14,649
資産合計	43,297	42,591
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,278	4,056
電子記録債務	5,013	4,521
短期借入金	8,761	9,814
未払法人税等	225	107
賞与引当金	348	85
その他	1,778	1,642
流動負債合計	20,405	20,228
固定負債		
長期借入金	3,776	2,897
繰延税金負債	97	418
役員退職慰労引当金	754	750
退職給付に係る負債	112	171
資産除去債務	16	16
その他	535	567
固定負債合計	5,292	4,822
負債合計	25,698	25,051

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,858	1,858
資本剰余金	1,844	1,844
利益剰余金	13,521	13,694
自己株式	△350	△351
株主資本合計	16,873	17,046
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	579	669
為替換算調整勘定	△326	△704
退職給付に係る調整累計額	102	126
その他の包括利益累計額合計	356	91
非支配株主持分	369	402
純資産合計	17,599	17,540
負債純資産合計	43,297	42,591

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	31,109	30,996
売上原価	26,006	26,345
売上総利益	5,103	4,651
販売費及び一般管理費	3,957	4,115
営業利益	1,146	535
営業外収益		
受取利息	17	24
受取配当金	33	38
為替差益	38	—
不動産賃貸料	59	56
その他	53	92
営業外収益合計	201	212
営業外費用		
支払利息	117	126
手形売却損	3	4
為替差損	—	40
その他	30	35
営業外費用合計	151	206
経常利益	1,196	541
特別利益		
固定資産売却益	155	46
特別利益合計	155	46
税金等調整前四半期純利益	1,351	587
法人税、住民税及び事業税	277	220
法人税等調整額	81	4
法人税等合計	359	224
四半期純利益	991	362
非支配株主に帰属する四半期純利益	33	42
親会社株主に帰属する四半期純利益	958	319

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	991	362
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△399	89
為替換算調整勘定	△170	△387
退職給付に係る調整額	23	23
その他の包括利益合計	△546	△275
四半期包括利益	445	87
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	409	55
非支配株主に係る四半期包括利益	35	32

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

第1四半期連結会計期間の期首より、砂永精工電子(東莞)有限公司の持分を新たに取得したため、連結の範囲に含めております。また、砂永精工電子(東莞)有限公司は当社の特定子会社に該当しております。

なお、特定子会社の異動には該当しておりませんが、第1四半期連結会計期間の期首より、株式会社三泉及びオグラクラッチ・フィリピン, Inc.の重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	輸送機器用事業	一般産業用事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	21,629	8,656	30,285	824	31,109
セグメント間の内部売上高 又は振替高	68	5	73	—	73
計	21,697	8,661	30,359	824	31,183
セグメント利益	945	201	1,146	80	1,226

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、防災関連業界向け等の輸送機器用事業および一般産業用事業以外の事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,146
「その他」の区分の利益	80
内部取引消去	24
棚卸資産の調整	△102
減価償却費の調整	0
全社費用(注)	△3
四半期連結損益計算書の営業利益	1,146

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	輸送機器用事業	一般産業用事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	22,654	7,309	29,964	1,032	30,996
セグメント間の内部売上高 又は振替高	60	30	91	—	91
計	22,715	7,340	30,055	1,032	31,087
セグメント利益又は損失(△)	811	△272	539	70	609

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、防災関連業界向け等の輸送機器用事業および一般産業用事業以外の事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	539
「その他」の区分の利益	70
内部取引消去	△12
棚卸資産の調整	△61
減価償却費の調整	3
全社費用(注)	△2
四半期連結損益計算書の営業利益	535

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

第1四半期連結会計期間の期首より、新たに持分取得した砂永精工電子(東莞)有限公司並びに重要性が増した株式会社三泉及びオグラクラッチ・フィリピン, Inc. を連結の範囲に含めております。なお、当該事象によるのれんの増加額は「輸送機器用事業」で103百万円、「一般産業用事業」で100百万円、「その他」で19百万円であります。